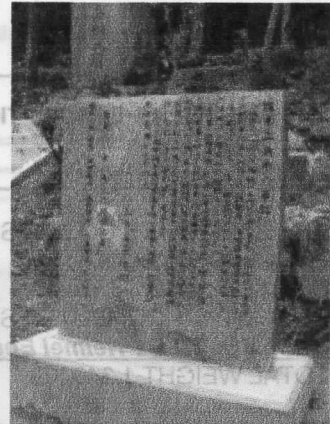


第1回・《海外へ目を向けた・橋本三兵衛》



DATE OF EXPORTATION
2006/10/25

SHIPPER/EXPORTER
FROM:
(Mr.) Yukuo MORIYA
ARIAS3D JAPAN RE
5-1-3 ROPONGI, MI
TOKYO 106-0032

JAPAN
COUNTRY OF ORIGIN
USA & CANADA
COUNTRY OF ULTIMATE
CANADA

NO OF
PKGS

4

1

橋本三兵衛は安永七年(1778年)敬川の橋詰という家の3男として生まれました。

橋詰という家は今はなく橋津屋と橋本屋はその分家です。幼い頃から利口で、8歳のとき霊泉寺の寺子屋で和堂源令和尚について勉強し、13歳のとき出家し本山京都東福寺で修行を積みました。

しかし、生まれつきの才能にひいで、青雲の志やむなく浜田市牛市町の親戚森田屋に住んでいたところを、浜田藩家老岡田頼母に見出され藩に仕えることとなりました。その後次第に力を発揮したので、藩の勘定方という重い役にまでなりました。

橋本三兵衛は、郷土敬川のために多くの事をしました。その中でも敬川大浜の開墾地のことで長年争いが続きましたのを円満に解決したり、浜の防風林の植樹をしたりしましたが、その頃経済的に困っていた浜田藩の財政を豊にするために、家族とも別れてただ一筋に命をかけて力を尽くしました。

その頃、浜田の松原に会津屋八右衛門という回船業をする人がいました。八右衛門の家は奥州会津(現福島県)に居た平家の一族で代々船乗りをしていました。清助(八右衛門の父)の船は、大阪や江戸へ荷物を運んで行くのですが、浜田藩は小さい藩なので産物が少ないので、大阪あたりでは石見のチャンコ丸だと言われていました。

負けることの嫌いな清助は、悔しくてたまりません。「よし、藩は5万石で小さくても殿様は天下の御老中、体は小さくても清助の肝っ玉は太いぞ」と、2500石積みの大きな船を作りました。その頃幕府は1000石船までを許していた程で1000石船でも大きいのですから、びっくりするほど大きな船でした。石見丸と名前をつけたかったのですが、日本一大きな船だから、名前はなくてもよかろうと大阪港へ乗り込みました。大阪人はびっくりしてみんなで「石見のあほう丸」だと言い出しました。

そのあほう丸が沈んだのは文政2年(1819年)秋のことでした。紀州沖で暴風雨にあい、船は難破し船員は行方知らずになりました。清助は運強く船板の破片に乗り大海の中に漂っているうち、小さな島に着きました。その島には鳥がたくさん居たので、その肉を食い皮を集めて小さな船を作りました。その船に乗って大海を漂ううちに、運よく日本によく来るオランダ船に助けられました。清助はその船で働いていましたが、ある時海賊船に襲われました。清助は海に飛び込み海賊船のうしろに回って海賊の大將を討ち取りました。その武勇でオランダ船の船員たちにカピタン清助と言われるようになりました。カピタンとは「かしら」という意味の言葉です。

清助はそれからパツパ(パプア島)やカボチャ(カンボジア)やスモートラ(スマトラ)という島を回ったと帰ってから話しています。清助が日本の長崎へ帰ったのは難船から3年たった文政5年(1822年)でした。死んだと思っていた清助が家へ帰ったので皆は夢かと驚きました。そして南の方の国は、北風が暖かく南風は涼しいなどと話すのを聞いて、清助は気が違ったのではないかと思いました。清助の息子八右衛門は、父に似て肝っ玉の大きい何にでも進んで取り組む人でした。北風が暖かく、南風が涼しい国へ行ったという父の話の話を皆は信じませんでした。八右衛門は「お父さんは嘘を言う人ではない。きっとそんな国があるに違いない。自分も遠い国に航海してみようと決心しました。そこでいろいろ調べてみると、竹島という島が在ることが分かりました。

その頃浜田藩は貧乏で経済的に困っていました。そこで、橋本三兵衛に相談し海外貿易をしようということになりました。橋本三兵衛も肝っ玉のの大きい、人の考え付かない新しいことを考え、しかも細かいところまで気を配る人でした。その頃幕府は鎖国政策をとり、オランダ以外の国との貿易は禁じていました。そこで三兵衛は家老岡田頼母に相談してひそかに海外貿易を始めました。八右衛門は、初め竹島に行って大きな竹や珍しい物を持って帰りましたが、だんだんと父清助の行ったスリの海(スルー海峡)やスモートラ(スマトラ)などの南の国へ行って、珍しい物を持って帰り、こちらからは日本刀などを持って行き大きな利益を上げました。そのため藩の財政も大変楽になりました。

しかし、この貿易も長くは続きませんでした。6年ばかりたった頃、幕府の役人間宮林蔵が石見地方を通り下府の家で、中国と印度あたりに生えている木が有るのを見つけ密貿易をしているのではないかと、幕府に知らせました。(間宮林蔵はカラフトと中国の間の間宮海峡を発見した人です。)

その後幕府の調べで密貿易のことが分かり、家老岡田頼母は切腹、橋本三兵衛と八右衛門は江戸の小塚原で天保7年(1836年)12月23日死罪となりました。2人はこの事あるを覚悟してこれまでに妻や子供を離縁し形見分けもしていました。死を覚悟して藩のために南の国々との貿易をしたのです。今では国と国の貿易が盛んですがその頃は狭い日本に閉じこもっていたのです。

三兵衛と八右衛門は、その頃海外に目を向けた先覚者で、勇気と実行力のある人達でした。

現在、三兵衛橋の所に建っている「烈士橋本三兵衛之碑」は1936年靈泉寺山崎秀巖禅師(現住職の祖父)が石見地方の人に呼びかけて建てられました。碑文は若槻礼次郎氏(島根県出身元総理大臣)の書かれたもので

す。

参考資料: 「ふるさと敬川の歴史と伝説」

EXPORT REFERENCES FedEx AWB: COI To:	OF EXPORTATION US25 REEXPORTER
Mr. Bob Cliffe (718) 297-8844 Hemel Engineering Products Inc. 8520 Lockport Road Niagara Falls, New York, 14305-3887 U.S.A.	YUKIO MORIYAMA 3D JAPAN REPRESENTATIVE OFFICE 5-1-3 ROPPONGI, MINATO-KU TOKYO 106-0032
IMPORTER (IF OTHER THAN CONSIGNEE) Mr. John Bell (905) 281-5237 Always Canada Inc. 155 The Queensway East, Unit #20, Mississauga, Ontario, Canada L4V 4C8	RY OF ORIGIN CANADA RY OF ULTIMATE DESTINATION CANADA

US DOLLARS US DOLLAR		MARKS & NUMBERS - DESCRIPTION OF GOODS	
TOTAL VALUE	UNIT VALUE	QUANTITY	
US\$274,820 - US\$274,820		1 SET	THREE(2) CRATES COMPRISING OF A COORDINATE MEASURING MACHINE * SERIAL # 50-82 * GEOMET 101 COMPUTER SOFTWARE(1) HARDWARE SYSTEM(1) * ASSEMBLED BY Hemel Engineering Products Inc. * TOTAL WEIGHT 1340 KG
US\$10,000 - US\$10,000		1	ONE(1) CARDBOARD BOX COMPRISING OF ONE(1) SYSTEM CONTROLLER UNIT * ASSEMBLED BY ARU3D * 27 KG
			NOTES: * USED PRODUCT TO BE RETURNING FOR REPAIR AND READJUSTMENT. * NOT FOR SALE OR RESALE. DEMONSTRATION PURPOSE * VALUE FOR CUSTOMS PURPOSE ONLY
US\$284,820			

TOTAL AMOUNT: US\$284,820-

RE THAT ALL INFORMATION CONTAINED IN THIS INVOICE TO BE TRUE AND CORRECT.

PRE OF SHIPPER EXPORTER

DATE

(MR.) YUKIO MORIYAMA
ARU3D JAPAN REPRESENTATIVE OFFICE

5-1-3 ROPPONGI, MINATO-KU
TOKYO 106-0032, Japan